

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レセプト種別	数字	4	レセプト種別コード(別表6)を記録する。	別表6
診療年月	数字	5	1 診療年月を和暦で年号区分コード(別表5)を含めた形で記録する。 2 数字“GYMM”の形式で記録する。	別表5
氏名	英数 又は 漢字	40	1 姓名を記録する。 2 姓と名の間に“スペース”を1桁記録する。 3 姓名が40バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 4 英数モードと漢字モードの文字を混在して記録しない。 英数:40桁 漢字:20桁	
男女区分	数字	1	男女区分コード(別表7)を記録する。	別表7
生年月日	数字	7	1 生年月日を和暦で年号区分コード(別表5)を含めた形で記録する。 2 数字“GYMMDD”の形式で記録する。	別表5
給付割合	数字	3	1 国民健康保険及び退職者医療の場合は、給付割合を百分率(%)で記録する。 2 その他の場合 原則的に記録を省略する。ただし、国民健康保険の被保険者であるにもかかわらず、届出を行わない等の理由により、未だ被保険者証の交付を受けていない場合であって被爆者健康手帳の交付を受けているものについては、“30”又は“030”を記録する。 3 有効桁数が3桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。	
入院年月日	数字	7	1 入院年月日を和暦で年号区分コード(別表5)を含めた形で記録する。 2 数字“GYMMDD”の形式で記録する。 3 入院レセプト以外の場合は、記録を省略する。	別表5
病棟区分	英数	8	1 当該患者が入院している病院又は病棟の種類に該当する場合のみ、病棟区分コード(別表8)を記録する。 2 月途中で異なる病棟区分に移動した場合は、移動した順に記録する。ただし、最大4つまでの記録を限度とする。 3 記録する際には、必ず2の倍数のバイト数となる。 4 記録する病棟区分が8バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 5 その他の場合は、記録を省略する。	別表8
一部負担金・食事療養費・生活療養費標準負担額区分	数字	1	1 一部負担金額並びに食事療養費又は生活療養費に係る標準負担額について、限度額適用・標準負担額減額認定証等の交付を受けている者の場合は、一部負担金・食事療養費・生活療養費標準負担額区分コード(別表9)を記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	別表9
レセプト特記事項	英数	10	1 特記事項が必要な場合は、レセプト特記事項コード(別表10)を順次、記録する。ただし、最大5つまでの記録を限度とする。 2 記録する際には、必ず2の倍数のバイト数となる。 3 記録するレセプト特記事項が10バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 4 その他の場合は、記録を省略する。	別表10
病床数	数字	4	1 病床数が必要な場合は当該病床数を記録する。	

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
			2 有効桁数が4桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 その他の場合は、記録を省略する。	
カルテ番号等	英数	20	1 カルテ番号又は患者ID番号等を記録する。 2 記録するカルテ番号又は患者ID番号等が20バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 3 カルテ番号又は患者ID番号等の記録は任意であり、記録しない場合は記録を省略する。	
割引点数単価	数字	2	1 保険者と保険医療機関との間等で割引契約が締結されている場合は、割引点数単価を記録する。 2 有効桁数が2桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 その他の場合は、記録を省略する。	
個別診療科	数字	2	1 旧総合病院又は旧総合病院以外の保険医療機関で診療科別に記録する場合は、診療科コードを記録することができる。 2 個別診療科の記録は任意であり、記録しない場合は記録を省略する。	
検索番号	数字	30	1 検索番号を記録する。 (17～30桁で構成する。) 2 一次請求の場合は、記録を省略する。 審査支払機関から返戻される返戻ファイル及び審査支払機関に再請求する再請求ファイルに記録する	
記録条件仕様年月情報	数字	5	1 記録条件仕様公表年月を“GYMM”の形式で記録する。 2 一次請求又は再請求の場合は、記録を省略する。ただし、履歴管理ブロックの履歴請求データについては、審査支払機関で記録されたままとする。 注 GYMM(DD)のGは年号区分コード(別表5)、YYは和暦年、MMは月、DDは日を示す。	別表5
請求情報	英数 又は 漢字	40	1 保険医療機関固有の情報を記録する。 2 有効桁数が40バイトに満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 英数モードと漢字モードの文字を混在して記録しない。 4 請求情報の記録は任意であり、記録しない場合は記録を省略する。	

2.2.2.2 レセプト情報

(1) 保険者レコード

表 2-3 保険者レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“HO”を記録する。	
保険者番号	英数	8	1 保険者番号を記録する。	

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
被保険者証(手帳)等の記号	英数 又は 漢字	40	1 健康保険被保険者証、船員保険被保険者証、船員保険被扶養者証、受給資格者票及び国民健康保険被保険者証等の「記号及び番号」欄の記号を左づめに記録する。	
被保険者証(手帳)等の番号	英数 又は 漢字	40	1 健康保険被保険者証、船員保険被保険者証、船員保険被扶養者証、受給資格者票及び国民健康保険被保険者証等の「記号及び番号」欄の番号を左づめに記録する。 2 後期高齢者被保険者証の被保険者番号を左づめに記録する。	
診療実日数	数字	2	1 医療保険、国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療の診療実日数を記録する。	
合計点数	数字	8	1 医療保険、国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療の合計点数を記録する。	
食事療養・生活療養・回数	数字	2	1 各明細情報の医療保険、国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療の食事療養及び生活療養の食事回数を合算して記録する。 2 有効桁数が2桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。	
食事療養・生活療養・合計金額	数字	8	1 各明細情報の医療保険、国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療の食事療養及び生活療養の合計金額を合算して記録する。 2 有効桁数が8桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。	
職務上の事由	数字	1	1 船員保険の被保険者については、職務上の取扱いとなる場合のみ職務上の事由コード(別表16)を記録する。 2 共済組合の船員組合員については、下船後3月以内の傷病で職務上の取扱いとなる場合のみ職務上の事由コード(別表16)を記録する。 3 その他の場合は、記録を省略する。	別表16
証明書番号	数字	3	1 国民健康保険及び退職者医療の場合で「国民健康保険一部負担金減額、免除、徴収猶予証明書」に証明書番号が記入されているものについては、証明書番号を記録する。	
負担金額・医療保険	数字	9	1 負担金額が必要な場合は当該金額を記録する。 2 負担金額がマイナス金額の場合は、負符号(-)を付加して記録する。 3 有効桁数が9桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 4 その他の場合は、記録を省略する。	
負担金額・減免区分	数字	1	1 「一部負担金減額、免除、徴収猶予証明書」の交付を受けた者の場合は、減免区分コード(別表18)を記録する。 2 広域連合長から一部負担金の減額、免除及び徴収猶予を受けた者の場合は、減免区分コード(別表18)を記録する。	別表17

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
			3 その他の場合は、記録を省略する。	
負担金額・減額割合	数字	3	1 減額割合を百分率(%)で記録する。 2 有効桁数が3桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 その他の場合は、記録を省略する。	
負担金額・減額金額	数字	6	1 減額金額を記録する。 2 有効桁数が6桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 その他の場合は、記録を省略する。	

(2) 公費レコード

表 2-4 公費レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	2	英数	“KO”を記録する。	
公費負担医療・負担者番号	8	英数	医療券等に記入されている公費負担者番号8桁を記録する。	
公費負担医療・受給者番号	7	数字	1 医療券等に記入されている受給者番号7桁を記録する。 2 受給者番号が7桁に満たない場合は、先頭から“0”を記録し、7桁で記録する。 3 医療観察法(法別30)の場合は、記録を省略する。	
公費負担医療・任意給付区分	1	数字	1 国民健康保険又は退職者医療の場合、公費負担者に任意給付があるときは、“1”を記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	
診療実日数	2	数字	1 公費負担医療に対応した各明細情報の診療実日数を合算して記録する。 2 有効桁数が2桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。	
合計点数	8	数字	1 公費負担医療に対応した各明細情報の合計点数を合算して記録する。 2 合計点数がマイナス点数の場合は、負符号(-)を付加して記録する。 3 有効桁数が8桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。	
負担金額・公費	8	数字	1 医療券等に記入されている公費負担医療に係る患者の負担額を記録する。 2 公費負担金額がマイナス金額の場合は、負符号(-)を付加して記録する。 3 有効桁数が8桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 4 公費負担医療に係る患者の負担額がない場合は、記録を省略する。	
負担金額・公費給付対象 外来一部負担金	6	数字	1 医療保険と公費負担医療併用又は後期高齢者医療と公費負担医療併用であって、外来一部負担金相当額を公費負担医療が給付する場合において、当該外来一部負担金相当額の一部を公費負担医療が給付するときは、公費負担医療に係る給付対象額を記録する。	
負担金額・公費給付対象	6	数字	1 医療保険と公費負担医療併用又は後期高齢者医療と公費負担医療併用であって、入院一部負担金相当額	

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
入院一部負担金			を公費負担医療が給付する場合において、当該入院一部負担金相当額の一部を公費負担医療が給付するときは、公費負担医療に係る給付対象額を記録する。	
食事療養・生活療養・回数	2	数字	1 公費負担医療に対応した各明細情報の食事療養及び生活療養の食事回数を合算して記録する。 2 有効桁数が2桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。	
食事療養・生活療養・合計金額	8	数字	1 公費負担医療に対応した各明細情報の食事療養及び生活療養の合計金額を合算して記録する。 2 有効桁数が8桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。	

(3) 国保連固有情報レコード

表 2-5 国保連固有情報レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	数字		“KH”を記録する。	
国保連固有情報	英数 又は 漢字		1 任意のフォーマットとする。 2 全体で100バイトとする。	

2.2.2.3 傷病名情報

表 2-6 傷病名レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“SY”を記録する。	
傷病名コード	数字	7	1 別に定める傷病名コードを記録する。 2 未コード化傷病名については“0000999”を記録する。	
診療開始日	数字	7	1 保険診療を開始した年月日を和暦で年号区分コード(別表5)を含めた形で記録する。 2 数字“GYMMDD”の形式で記録する。注 GYYMMDDのGは年号区分コード(別表5)、YYは和暦年、MMは月、DDは日を示す。	別表5
転帰区分	数字	1	該当する転帰区分コード(別表18)を記録する。	別表18
修飾語コード	英数	80	1 傷病名コードで規定している傷病名に接頭語又は接尾語を必要とする場合は、別に定める修飾語コードを順に記録すること。ただし、最大20個までの記録を限度とする。	
傷病名称	漢字	40	1 未コード化傷病名の場合は、当該傷病名を記録する。	
主傷病	数字	2	1 主傷病の場合は、主傷病コード(別表19)を記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	別表19
補足コメント	漢字	40	1 傷病名に対する補足コメントが必要な場合に記録する。 2 その他の場合は、記録を省略する。	

2.2.2.4 摘要情報

(1) 診療行為レコード

表 2-7 診療行為レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“SI”を記録する。	
診療識別	数字	2	1 診療識別コード(別表20)を記録する。 2 診療識別を必要としない診療行為の場合は、記録を省略する。	別表20
負担区分	英数	1	負担区分コード(別表21)を記録する。	別表21
診療行為コード	数字	9	別に定める診療行為コードを記録する。	
数量データ	数字	8	1 数量データを必要とする診療行為の場合は、診療行為コードで規定している単位で整数値を記録する。	
点数	数字	7	1 診療行為の点数又は金額を記録する。	
回数	数字	3	1 診療行為の回数を記録する。	
①コメント・コメントコード	数字	9	1 コメントが必要な場合、別に定めるコメントコードと文字データを順次、対で記録する。 2 文字データは対となるコメントコードに対応して、文字情報、数字情報又は別に定める修飾語コードを記録する。 3 文字データの記録を要しないコメントコードの場合は、文字データの記録を省略する。 5 修飾語コードを記録する場合、最大5コードまでを前詰めで記録する。	
①コメント・文字データ	漢字	100		
②コメント・コメントコード	数字	9		
②コメント・文字データ	漢字	100		
③コメント・コメントコード	数字	9		
③コメント・文字データ	漢字	100		

(2) 医薬品レコード

表 2-8 医薬品レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“IY”を記録する。	
診療識別	数字	2	1 診療識別コード(別表20)を記録する。 2 診療識別を必要としない医薬品の場合は、記録を省略する。	別表20
負担区分	英数	1	負担区分コード(別表21)を記録する。	別表21
医薬品コード	数字	9	別に定める医薬品コードを記録する。	別表21
使用量	英数	11	1 医薬品の使用量は、整数部5桁、小数部5桁として、整数部と小数部は小数点で区切り記録する。 2 有効桁数が11桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 使用量を記録しない場合は、記録を省略する。	
点数	数字	7	1 医薬品の点数を記録する。	

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
			2 有効桁数が7桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 点数を記録しない場合は、記録を省略する。	
回数	数字	3	1 医薬品の回数を記録する。 2 有効桁数が3桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 回数を記録しない場合は、記録を省略する。	
①コメント・コメントコード	数字	9	1 コメントが必要な場合、別に定めるコメントコードと文字データを順次、対で記録する。 2 文字データは対となるコメントコードに対応して、文字情報、数字情報又は別に定める修飾語コードを記録する。 3 文字データの記録を要しないコメントコードの場合は、文字データの記録を省略する。 5 修飾語コードを記録する場合、最大5コードまでを前詰めで記録する。	
①コメント・文字データ	漢字	100		
②コメント・コメントコード	数字	9		
②コメント・文字データ	漢字	100		
③コメント・コメントコード	数字	9		
③コメント・文字データ	漢字	100		

(3) 特定器材レコード

表 2-9 特定器材レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“TO”を記録する。	
診療識別	数字	2	1 診療識別コード(別表20)を記録する。 2 診療識別を必要としない特定器材の場合は、記録を省略する。	別表20
負担区分	英数	1	負担区分コード(別表21)を記録する。	別表21
特定器材コード	数字	9	1 別に定める特定器材コードを記録する。 2 未コード化特定器材については“777770000”を記録する。	別表21
使用量	英数	9	1 特定器材の使用量は、整数部5桁、小数部3桁として、整数部と小数部は小数点で区切り記録する。 2 有効桁数が9桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 酸素の補正率等使用量がない場合は、記録を省略する。	
点数	数字	7	1 特定器材の点数を記録する。 2 有効桁数が7桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 点数を記録しない場合は、記録を省略する。	
回数	数字	3	1 特定器材の回数を記録する。 2 有効桁数が3桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 回数を記録しない場合は、記録を省略する。	
単位コード	数字	3	1 特定器材単位コード(別表22)を記録する。 2 単位が規定されている特定器材コードの場合は、記録を省略しても差し支えない。 3 酸素の補正率等使用量がない場合は、記録を省略する。	別表22
単価	英数	11	1 材料価格は、整数部8桁、小数部2桁として、整数部と小数部は小数点で区切り記録する。	

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
			2 有効桁数が11桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 単価が規定されている特定器材コードの場合は、記録を省略しても差し支えない。 4 酸素の補正率等単価がない場合は、記録を省略する。	
特定器材名称	漢字	40	1 未コード化特定器材の場合は、告示名を記録する。 2 別に定める特定器材コードの場合は、記録を省略する。 3 特定器材名称が40バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。	
商品名及び規格又はサイズ	漢字	300	1 商品名及び規格又はサイズを記録する。 2 商品名及び規格又はサイズが300バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。	
①コメント・コメントコード	数字	9	1 コメントが必要な場合、別に定めるコメントコードと文字データを順次、対で記録する。	
①コメント・文字データ	漢字	100	2 文字データは対となるコメントコードに対応して、文字情報、数字情報又は別に定める修飾語コードを記録する。	
②コメント・コメントコード	数字	9	3 文字データの記録を要しないコメントコードの場合は、文字データの記録を省略する。	
②コメント・文字データ	漢字	100	4 記録する文字データが100バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。	
③コメント・コメントコード	数字	9	5 修飾語コードを記録する場合、最大5コードまでを前詰めで記録する。	
③コメント・文字データ	漢字	100	6 コメントを記録しない場合は、コメントコードと文字データの記録を省略する。	

(4) コメントレコード

表 2-10 コメントレコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“CO”を記録する。	
診療識別	数字	2	1 診療識別コード(別表20)を記録する。 2 診療識別を必要としないコメントの場合は、記録を省略する。	別表20
負担区分	英数	1	負担区分コード(別表21)を記録する。	別表21
コメントコード	数字	9	別に定めるコメントコードを記録する。	
文字データ	漢字	76	1 各コメントコードに対応して、文字情報、数字情報又は別に定める修飾語コードを記録する。 2 文字データの記録を要しないコメントコードの場合は、記録を省略する。 3 記録する文字データが76バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。	フリー

(5) 日計表レコード

表 2-11 日計表レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“NI”を記録する。	
1日の情報	数字	3	1 回数を記録する。 2 回数を記録しない場合は、記録を省略する。	
2日の情報	数字	3	1 回数を記録する。 2 回数を記録しない場合は、記録を省略する。	
3日の情報	数字	3	1 回数を記録すること。 2 回数を記録しない場合は、記録を省略する。	
4日の情報 ～ 28日の情報				
29日の情報	数字	3	1 回数を記録する。 2 回数を記録しない場合は、記録を省略する。	
30日の情報	数字	3	1 回数を記録する。 2 回数を記録しない場合は、記録を省略する。	
31日の情報	数字	3	1 回数を記録する。 2 回数を記録しない場合は、記録を省略する。	

※当該レコードは、摘要情報（医薬品レコードなど）の点数及び回数が記録されているレコードの次に記録する。

このレコードについては、以下のように情報項目を変更した。

表 2-12 日計表レコード(変更)

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	数字	2	“NI”を記録する。	
日付情報	数字	2	1～31日までのうち回数記録が必要な日付を設定する。	
回数情報	数字	3	回数	

※ 必要な記載日分、日付情報と回数情報を組にして繰り返す。

2.2.2.5 症状詳記情報

表 2-13 症状詳記レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“SJ”を記録する。	
症状詳記区分	数字	2	1 症状詳記区分コード(別表23)を記録する。 2 同一症状詳記区分の症状詳記データを複数レコードにまたがって記録する場合は、後続レコードの症状詳記区分の記録を省略する。	別表23
症状詳記データ	漢字	2400	1 症状詳記を記録することができる。 2 記録する文字データが2400バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。	

2.2.3 臓器提供者レセプト情報

2.2.3.1 臓器提供医療機関情報レコード

表 2-14 臓器提供医療機関情報レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“TI”を記録する。	
臓器提供区分	数字	1	臓器提供区分コード(別表24)を記録する。	別表24
臓器提供医療機関区分	数字	1	臓器提供医療機関区分コード(別表25)を記録する。	別表25
都道府県	数字	2	1 保険医療機関の所在する都道府県コード(別表2)を記録する。 2 臓器提供医療機関区分が“1”の場合は、記録を省略する。	別表2
点数表	数字	1	1 保険医療機関が使用する点数表コード(別表3)を記録する。 2 臓器提供医療機関区分が“1”の場合は、記録を省略する。	別表3
医療機関コード	数字	7	1 保険医療機関について定められた医療機関コードを記録する。 2 臓器提供医療機関区分が“1”の場合は、記録を省略する。	
診療科コード	数字	2	1 臓器提供医療機関が旧総合病院の場合は、診療科コード(別表4)を記録する。ただし、臓器提供医療機関区分が“1”の場合であって、かつ同一の診療科である場合は、記録を省略する。 2 旧総合病院以外の場合は、記録を省略する。	別表4
医療機関名称	漢字	40	1 地方厚生(支)局長に届け出た保険医療機関の名称を記録する。 2 保険医療機関名称が40バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 3 臓器提供医療機関区分が“1”の場合は、記録を省略する。	
医療機関所在地	漢字	80	1 地方厚生(支)局長に届け出た保険医療機関の所在地を記録する。 2 医療機関所在地が80バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 3 臓器提供医療機関区分が“1”の場合は、記録を省略する。	
電話番号	英数	15	1 保険医療機関の電話番号を記録する。 2 電話番号は市外局番、市内局番及び加入者番号を記録すること。この場合において、各番号の間にはカッコ又はハイフンを用いることができる。 3 電話番号が15バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 4 電話番号の記録は任意であり、記録しない場合は記録を省略する。 5 臓器提供医療機関区分が“1”の場合は、記録を省略する。	

2.2.3.2 臓器提供者レセプト情報レコード

表 2-15 臓器提供者レセプト情報レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“TR”を記録する。	
レセプト番号	数字	6	1 レコードが属する臓器提供医療機関ごとに臓器提供者レセプト番号を記録順に1から昇順に連続番号を記録する。	

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
			2 有効桁数が6桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。	
臓器提供者レセプト種別	数字	4	臓器提供者レセプト種別コード(別表26)を記録する。	別表26
診療年月	数字	5	1 診療年月を和暦で年号区分コード(別表5)を含めた形で記録する。 2 数字“GYMM”の形式で記録する。	別表5
氏名	英数 又は 漢字	40	1 姓を記録する。 2 姓と名の間に“スペース”を1桁記録する。 3 姓名が40バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 4 英数モードと漢字モードの文字を混在して記録しない。	モード毎の桁数は次のとおりとする。 英数:40桁 漢字:20桁
男女区分	数字	1	男女区分コード(別表7)を記録する。	別表7
生年月日	数字	7	1 生年月日を和暦で年号区分コード(別表5)を含めた形で記録する。 2 数字“GYMMDD”の形式で記録する。	別表5
入院年月日	数字	7	1 入院年月日を和暦で年号区分コード(別表5)を含めた形で記録する。 2 数字“GYMMDD”の形式で記録する。 3 入院レセプト以外の場合は、記録を省略する。	別表5
病棟区分	英数	8	1 当該臓器提供者が入院している病院又は病棟の種類に該当する場合のみ、病棟区分コード(別表8)を記録する。 2 途中で異なる病棟区分に移動した場合は、移動した順に記録する。ただし、最大4つまでの記録を限度とする。 3 記録する際には、必ず2の倍数のバイト数となる。 4 記録する病棟区分が8バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 5 その他の場合は、記録を省略する。	別表8
レセプト特記事項	英数	10	1 特記事項が必要な場合は、レセプト特記事項コード(別表10)を順次、記録する。ただし、最大5つまでの記録を限度とする。 2 記録する際には、必ず2の倍数のバイト数となる。 3 記録するレセプト特記事項が10バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 4 その他の場合は、記録を省略する。	別表10
カルテ番号・患者ID番号等	英数	20	1 カルテ番号又は患者ID番号等を記録する。 2 記録するカルテ番号又は患者ID番号等が20バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。 3 カルテ番号又は患者ID番号等の記録は任意であり、記録しない場合は記録を省略する。記録を省略する。	
割引点数単価	数字	2	1 保険者と臓器提供医療機関との間で割引契約が締結されている場合は、割引点数単価を記録する。 2 有効桁数が2桁に満たない場合は、有効桁までの記録として差し支えない。 3 その他の場合は、記録を省略する。	

2.2.3.3 臓器提供者請求情報レコード

表 2-16 臓器提供者請求情報レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“TS”を記録する。	
診療実日数	数字	2	1 臓器提供者の診療実日数を記録する。 2 有効桁数が2桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。	
合計点数	数字	8	1 臓器提供者の合計点数を記録する。 2 有効桁数が8桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。	
食事療養・生活療養回数	数字	2	1 臓器提供者の食事療養及び生活療養の食事回数を記録する。 2 有効桁数が2桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 入院外レセプトの場合は、記録を省略する。	
食事療養・生活療養合計金額	数字	8	1 臓器提供者の食事療養及び生活療養の合計金額を記録する。 2 有効桁数が8桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 入院外レセプトの場合は、記録を省略す	

2.2.3.4 摘要情報 《「2.2.2.4 摘要情報」の内容に同じ》

以下、「2.2.2.4 摘要情報」の(1)～(5)を参照。

- (1) 診療行為レコード
- (2) 医薬品レコード
- (3) 特定器材レコード
- (4) コメントレコード
- (5) 日計表レコード

2.2.3.5 症状詳記レコード 《「2.2.2.5 症状詳記レコード」の内容に同じ》

「2.2.2.5 症状詳記レコード」を参照。

2.2.4 診療報酬請求書情報

2.2.4.1 診療報酬請求書情報レコード

表 2-17 診療報酬請求書情報レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
レコード識別情報	英数	2	“GO”を記録する。	
総件数	数字	8	1 保険医療機関(旧総合病院においては診療科)単位のレセプト件数を合計して記録する。 2 有効桁数が6桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 複数ボリュームに分割して記録した場合、保険医療機関(旧総合病院においては診療科)単位の最終ボリューム以外は、記録を省略する。	
総合計点数	数字	2	1 保険医療機関(旧総合病院においては診療科)単	

項目	モード	最大バイト数	記録内容	備考
			位の各レセプトの主保険に係る合計点数を合算して記録する。 2 有効桁数が10桁に満たない場合は、有効桁までの記録としても差し支えない。 3 複数ボリュームに分割して記録した場合、保険医療機関(旧総合病院においては診療科)単位の最終ボリューム以外は、記録を省略する。	
マルチボリューム識別情報	数字	8	保険医療機関(旧総合病院においては診療科)単位の、最終ボリューム以外の場合は、“01”から昇順に2桁の連続番号を記録し、最終ボリュームの場合は“99”を記録する。	

2.2.5 医科用における各レコードの関係

前述している各情報の関係は以下の図ようになる。

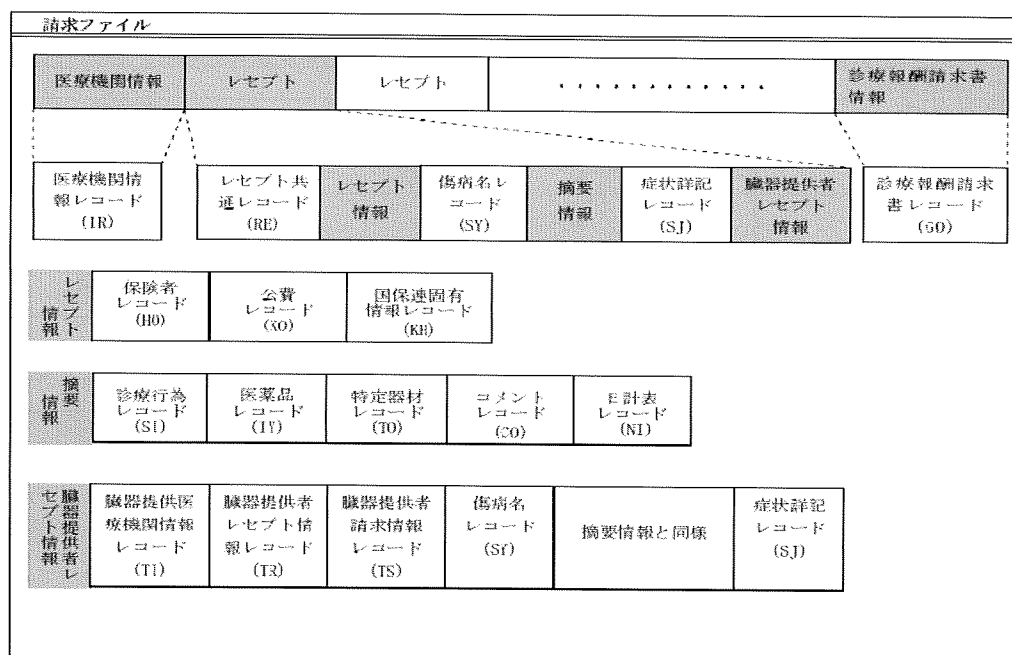


図 2-1 レコード関係イメージ

(「オンライン又は光ディスク等により請求に係る記録条件仕様(医科用)平成 21 年20月版」から引用)

2.2.6 情報項目の不利用

レセプト電算処理システム請求ファイル仕様にある情報項目のうち、各レコードに含まれている「レコード識別情報」「マルチボリューム識別情報については、対象外とした。これらの情報はそれぞれ CSV ファイルを作成する上での情報始まりを示すための管理項目、保存媒体の順番を管理する運用ルールにあわせて使用している項目であり、今回検討する CAD R2 の構造(患者単位に情報の固まりを完結する、情報モデルに適合させた記述仕様である)には表現できない項目であり、また必要がない項目である。複数媒体に管理する場合の運用については、別途決める必要がある。

2.3 オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様（DPC用）におけるの情報項目

「オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様（DPC用）」（以下、DPCレセプト電算処理システム請求ファイル仕様）に含まれる項目について示す。表中の備考欄にある“別表1”のように別表の記載があるものは、「DPCレセプト電算処理システム請求ファイル仕様」に記載されている各項目コード表であり、以降の「10章」に各別表の内容を記載している。これら別表のコードは各該当する情報項目に設定するコードになる。

2.3.1 医療機関情報

2.3.1.1 医療機関情報レコード

表 2-18 医療機関情報レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“IR”を記録する。	
審査支払機関	数字	1		別表1
都道府県	数字	2		別表2
点数表	数字	1	“1”(医科)	別表3
医療機関コード	数字	7		医療機関コード
診療科コード	数字	2	旧総合病院の場合は、診療科コード(別表4)を記録	別表4
医療機関名称	漢字	40		
請求年月	数字	5		別表5
マルチボリューム識別情報	数字	2		
電話番号	英数	15		

2.3.2 レセプト共通情報

2.3.2.1 レセプト共通レコード

表 2-19 レセプト共通レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“RE”を記録する。	
レセプト番号	数字	6	総括対象DPCレセプト及び総括対象医科入院レセプトの場合は、当該明細情報が属する総括レセプトのレセプト番号を記録する。	
レセプト種別	数字	4		別表6
診療年月	数字	5		別表5
氏名	英数 又は 漢字	40		
男女区分	数字	1		別表7
生年月日	数字	7		
給付割合	数字	3	百分率(%)	別表5

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
入院年月日	数字	7		別表5
病棟区分	英数	8		別表8
一部負担金・食事療養費・生活療養費標準負担額区分	数字	1		別表9
レセプト特記事項	英数	10		別表10
カルテ番号等	英数	20		
割引点数単価	数字			
診療科コード	数字	2		別表4
レセプト総括区分	数字	1		別表16
明細情報数	数字	2	1 総括レセプトの場合、明細情報数を記録する。ただし、明細情報数は15個までの記録を限度とする。	
検索番号	数字	30		
記録条件仕様年月情報	数字	5		“GYMM”
請求情報	英数漢字	40		

2.3.3 レセプト総括情報

2.3.3.1 保険者レコード

表 2-20 保険者レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“HO”を記録する。	
保険者番号	英数	8		
被保険者証(手帳)等の記号	英数漢字	38		
被保険者証(手帳)等の番号	英数漢字	38		
診療実日数	数字	2	1 各明細情報の医療保険、国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療の診療実日数を合算して記録する。	
合計点数	英数	8	1 各明細情報の医療保険、国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療の合計点数を合算して記録する。	
食事療養・生活療養回数	数字	2	1 各明細情報の医療保険、国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療の食事療養及び生活療養の食事回数を合算して記録する。	
食事療養・生活療養合計金額	数字	8	各明細情報の医療保険、国民健康保険、退職者医療又は後期高齢者医療の食事療養及び生活療養の合計金額を合算して記録する。	
職務上の事由	数字	1		
証明書番号	数字	3		
負担金額 医療保険	英数	9	1 負担金額が必要な場合は当該金額を記録する。	
負担金額 減免区分	数字	1		別表18
負担金額 減額割合	数字	3	1 減額割合を百分率(%)で記録する	別表18
負担金額 減額金額	数字	6	1 減額金額を記録する	
食事療養・生活療養標準負担額	数字	8		

2.3.3.2 公費レコード

表 2-21 公費レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“KO”を記録する。	
公費負担医療.負担者番号	英数	8		
公費負担医療.受給者番号	数字	7		
公費負担医療.任意給付区分	数字	1	1 国民健康保険又は退職者医療の場合、公費負担者に任意給付があるときは、“1”を記録する。	
診療実日数	数字	2	1 公費負担医療に対応した各明細情報の診療実日数を合算して記録する。	
合計点数	英数	8	1 公費負担医療に対応した各明細情報の合計点数を合算して記録する。	
負担金額.公費	英数	8	1 医療券等に記入されている公費負担医療に係る患者の負担額を記録する。	
公費給付対象入院一部負担金	英数	6	1 入院一部負担金相当額の一部を公費負担医療が給付するときは、当該公費負担医療に係る給付対象額を記録する。	
食事療養・生活療養.回数	数字	2		
食事療養・生活療養.合計金額	数字	8	1 公費負担医療に対応した各明細情報の食事療養及び生活療養の合計金額を合算して記録する。	
食事療養・生活療養.標準負担額	数字	8	1 公費負担医療に対応した食事療養及び生活療養の標準負担額を記録する。	

2.3.3.3 国保連固有情報レコード

表 2-22 国保連固有情報レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“KH”を記録する。	
国保連固有情報	英数漢字	100	1 任意のフォーマットとする。	

2.3.4 コメント情報

2.3.4.1 コメントレコード

表 2-23 コメントレコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“CO”を記録する。	

診療識別	数字	2	1 診療識別コード(別表19)を記録する。	別表19
負担区分	英数	1	負担区分コード(別表20)を記録する。	別表20
コメントコード	数字	9	別に定めるコメントコードを記録する。	コメントマスタ
文字データ	漢字	76	1 各コメントコードに対応して、文字情報、数字情報又は別に定める修飾語コードを記録する。	修飾語マスタ 5個まで

2.3.5 症状詳記情報

2.3.5.1 症状詳記レコード

表 2-24 症状詳記レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“SJ”を記録する。	
症状詳記区分	数字	2	1 症状詳記区分コード(別表21)を記録する。 2 同一症状詳記区分の症状詳記データを複数レコードにまたがって記録する場合は、後続レコードの症状詳記区分の記録を省略する。	別表21
症状詳記データ	漢字	2400	1 症状詳記を記録することができる。 2 記録する文字データが2400バイトに満たない場合は、後続する“スペース”を省略しても差し支えない。	

2.3.6 レセプト情報

2.3.6.1 保険者レコード

表 2-25 保険者レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“HO”を記録する。	
保険者番号	英数	8		
被保険者証(手帳)等の記号	英数 漢字	38		
被保険者証(手帳)等の番号	英数 漢字	38		
診療実日数	数字	2		
合計点数	英数	8		
食事療養・生活療養回数	数字	2		
食事療養・生活療養合計金額	数字	8		
職務上の事由	数字	1		別表17
証明書番号	数字	3		
負担金額.医療保険	英数	9	1 DPCLレセプトの場合、入院における負担金額が必要なときは、当該金額を記録する 4 総括対象DPCLレセプト及び総括対象医科入院レセプトの場合は、記録を省略する。	
負担金額.減免区分	数字	1		別表18

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
負担金額・減額割合	数字	3	1 DPCLレセプトの場合、減額割合を百分率(%)で記録する。 4 総括対象DPCLレセプト及び総括対象医科入院レセプトの場合は、記録を省略する。	
負担金額・減額金額	数字	6	1 DPCLレセプトの場合、減額金額を記録する 4 総括対象DPCLレセプト及び総括対象医科入院レセプトの場合は、記録を省略する。	
食事療養・生活療養標準負担額	数字	8	1 DPCLレセプトの場合標準負担額を記録する 4 総括対象DPCLレセプト及び総括対象医科入院レセプトの場合は、記録を省略する。	

2.3.6.2 公費レコード

表 2-26 公費レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“KO”を記録する。	
公費負担医療・負担者番号	英数	8		
公費負担医療・受給者番号	数字	7		
公費負担医療・任意給付区分	数字	1	1 国民健康保険又は退職者医療の場合、公費負担者に任意給付があるときは、“1”を記録する。	
診療実日数	数字	2		
合計点数	英数	8		
負担医療・公費	英数	8	1 医療券等に記入されている公費負担医療に係る患者の負担額を記録する。	
負担医療・公費給付対象入院一部負担金	英数	6		
食事療養・生活療養回数	数字	2		
食事療養・生活療養合計金額	数字	8		
食事療養・生活療養標準負担額	数字	8		

2.3.6.3 国保連固有情報レコード

表 2-27 国保連固有情報レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“KH”を記録する。	
国保連固有情報	英数 漢字	100		

2.3.7 診断群分類情報

2.3.7.1 診断群分類レコード

表 2-28 診断群分類レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“BU”を記録する。	

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
診断群分類番号	英数	14	別に定める診断群分類番号を記録する。	
今回入院年月日	数字	7	1 今回入院年月日を和暦で年号区分コード含めた形で記録する。	別表5
今回退院年月日	数字	7	1 今回退院年月日を和暦で年号区分コード(別表5)を含めた形で記録する。	別表5
DPC転帰区分	数字	1	1 退院時又は診断群分類区分の対象外に切り替わる場合、を記録する。	別表22
死因	漢字	100	1 DPC転帰区分が“7”(外死亡)の場合、死亡診断書に記入した死因を記録する。	

2.3.8 傷病情報

2.3.8.1 傷病レコード

表 2-29 傷病レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“SB”を記録する。	
傷病名コード	数字	7		傷病名マスタ
修飾語コード	英数	80		修飾語マスタ
傷病名称	漢字	40		
ICD10コード	英数	5	1 傷病名に対応するを記録する。	ICD10コード
傷病名区分	数字	2		別表23)
死因	数字	1	1 DPC転帰区分が“7”(外死亡)の場合、死因の対象傷病名について“1”(死因)を記録する。	
補足コメント	漢字	40	1 傷病名に対する補足コメントが必要な場合に記録する。	

2.3.9 傷病名情報

2.3.9.1 傷病名レコード

表 2-30 傷病名レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“SY”を記録する。	
傷病名コード	数字	7		傷病名マスタ
診療開始日	数字	7		
転帰区分	数字	1		別表24
修飾語コード	英数	80		修飾語マスタ
傷病名称	漢字	40		
主傷病	数字	2		別表25
補足コメント	漢字	40		

2.3.10 患者基礎情報

2.3.10.1 患者基礎レコード

表 2-31 患者基礎レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“KK”を記録する。	
入退院情報.転科の有無	数字	1		別表26。
入退院情報.一般病棟以外の病棟移動の有無	数字	1	1 対象外病棟への転科又は対象外病棟から一般病棟へ転棟した場合は、“1”(有)を記録する。	
入退院情報.予定・緊急入院区分	数字	1		別表27
入退院情報.前回退院年月日	数字	7	1 当該保険医療機関において入院歴がある場合、前回の退院年月日を和暦で年号区分コード(別表5)を含めた形で記録する。	
入退院情報.前回同一傷病での入院の有無	数字	1	1 当該保険医療機関において前回と同一傷病で入院した場合は、“1”(有)を記録する。	
診療関連情報.入院時年齢	数字	3	1 年齢要件が定められている診断群分類区分の場合、入院時の患者年齢を記録する。	
診療関連情報.出生時体重	数字	4	1 出生時体重要件が定められている診断群分類区分の場合、g単位で患者体重を記録する。	
診療関連情報.JCS	数字	3	1 JCS要件が定められている診断群分類区分の場合、JCSを記録する。	
診療関連情報.Burn Index	英数	5	1 Burn Index 要件が定められている診断群分類区分の場合、Burn Index を記録する。	
診療関連情報.重症度等	漢字	100	1 重症度等の要件が定められている診断群分類区分の場合、重症度等を記録する。	
診療関連情報.GAF	数字	3	1 GAF 要件が定められている診断群分類区分の場合、GAF を記録する。	

2.3.11 診療関連情報

2.3.11.1 診療関連レコード

表 2-32 診療関連レコード

項目	モード	最大バイト数	記録内容(特記)	備考
レコード識別情報	英数	2	“SK”を記録する。	
診療行為コード	数字	9	診療行為コードの記録は任意とする。 1 手術又は処置等の診療名称を省略する場合、別に定める診療行為コードを記録する。	
区分番号	英数	7	区分番号又は診療区分コードのいずれかを記録し、他方は記録を省略する。 1 厚生労働大臣が定める傷病名、手術、処置等及び副傷病名を定める件(平成18年厚生労働省告示第140号)で、手術、手術・処置等1及び手術・処置等2に定められた区分を記録する。	
実施(予定)年月日	数字	7	1 手術、処置の実施年月日又は予定年月日を和暦で年号区分コードを含めた形で記録する。	別表5
診療区分コード	英数	4	1 区分番号が定められていない診断群分類区分の場合、診療区分コード(別表28)を記録する。	別表28
診療名称	漢字	200	1 区分番号が記録された場合、区分番号の翻訳情報を記録する。ただし、診療行為コード又は診療区分コードが記録された場合は記録を	